

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第1項 現代社会学部社会システム学科

出身高校名 ル・テル学院高等学校

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は幼い頃から歴史が好きで、歴史のある京都で学びたいという夢がありました。また、旅行関係の仕事に就くセルにも興味を持っていました。同志社女子大学の現代社会学部社会システム学科では、歴史のセルや観光関係のセルを京都学・観光学コースで学べるセルがでる、私にピッタリな大学だと思いました。志望しました。

(2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

私は、高校入学当初から同志社女子大学への入学を強く希望していました。入試形態を調べてみると、AO入試で求められる学生像が私が高校時代に行っていた活動と合致したので、自分自身の姿をアピールできると思ったからです。また、京阪活動の経験が豊富である私にとって最適な入試方法だと感じたからです。

(3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

中学校から6年間キリスト教を学んでいたセル、宗教委員長の活動を通して学んだセル、敬会活動での人との交わりをアピールしました。また、地域課題解決プロジェクトに参加して、過疎地域の問題は負解決を行ったり、生徒会総務の一員として学校行事の運営を行ったりしたセルをアピールしました。この経験を通して社会にどう貢献していけるかを具体的に伝えられるセルが大切だと感じました。

(4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

出願するセルに時間があるので、自分のセルを自己分析するセルから始めました。また周りの先生や友達に自分の長所や短所をレビューして、文章を書くのに活かしました。レポートは、先輩や先生の先生と話し合いながら完成させました。でもあんな文章に満足せず、多くの人にアドバイスをもらいながら推敲により良い文章を作りました。はやめにセルがかり余裕をもって進めるセルが大切だと思いました。

〔面接〕

どのような質問がされるかを想定して、その質問が来たらどのようなセルを答えるかを考えておきながら面接練習を行いました。面接官と対話するセルを意識して、目を見て話したり、相づちを打ったり、対話を繰り返すセルを練習しました。自分が今まで行ってきた活動をわかりやすく具体的に話す練習をしたり、レポート内容を2〜3分で要約して話す練習を行いました。

(5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

何事にも積極的に参加して、色々な経験を積むセルが大切だと思いました。レポートは大変だとは思いますが、真摯に向き合えば大学でどのようなセルをしたいか、具体的に伝えるようになると思います。自分の思いを強く持ち、その思いを伝えれば、結果につながると、思っています。周りの人を頼りながら頑張ってください。応援しています。